

会 議 名

令和5年度第1回 生活支援事業連絡会

開催日時	2023年4月19日(水) 14:00~16:00
開催場所	本町暫定第1会議室
参加者	小金井市介護福祉課：木津氏(欠席)、菊地原氏、(敬称略) きた包括：松村氏 みなみ包括：吉田氏 にし包括：久野氏 ひがし包括：金子(記録)

議 事 内 容

1. 「お金の管理」啓発について
 - ・各圏域公民館にて朗読劇を実施。
 - ・7月(みなみ)、10月(ひがし)、12月(にし)、2月(きた)
 - ・公民館を行政使用で押さえることができない為、市民抽選後空きがある枠のみ使用可。7/27PM、西之台会場/PMを仮押さえる。
 - ・台本はみなみ包括Y氏にて作成。20分朗読劇、30分ディスカッション。チェックシートは市にてたたき台を作成する。今年1年をかけて市民の声も聴きながら作成予定。会場設営等の準備も行う。
 - ・啓発には圏域の地域住民にも参加してもらう(検討会メンバーから声かけ)。
 - ・事前打ち合わせ、読み合わせ等は連絡会にて極力行う。啓発用チラシ校正中、6月末仕上がり予定。
2. 男性ニーズ調査について
 - ・アンケート配布中、回収分は随時交換便にて市へ届ける。
3. 男性の集まりやすい場所について
 - ・アンケート結果より多岐にわたるニーズが見えてきている。(47名のアンケート回答から)
 - 囲碁(13) 資源色々あり
 - 料理(10) 翁味会、その他はあるか。
 - ボランティア(9)
 - 音楽(9) ジャンルは、演奏・鑑賞なのか。
 - PC・スマホ(12)
 - 園芸(7) 桜町、つきみの園、農園、公園美化サポーター
 - 歴史(9) 学び合い出前講座等
 - その他(5) 麻雀、写真、学習支援等
 - 次回連絡会でも共有をする。
4. サブスタッフ卒業生交流会について
 - ・昨年度の内容を踏襲してもサブスタッフに立ち上げ支援は困難と思われることから卒業後の活動イメージを持ってもらう意味で、また継続支援としてボッチャをツールとして体験会を年2.3回開催する。
 - ・当日は2層SCの参加は必須ではない。
 - ・活動参加者から自身の活動のPR、相互の情報交換を行う。既存会場へのマッチングもよい。
 - ・「地域活動情報交換会」として、サブスタッフ卒業生だけでなく、対象者を地域住民まで拡大する。
5. 応援ブックについて
 - ・10月末情報更新データメ切。年度内の発行。活動内容が分かるように記載する。
6. その他
 - ・スマホサポーター交流会、4/27、14時～ 萌え木ホール
 - スマホサポーター相談会：サロンや老人会への派遣が可能、老人会からの出張スマホ講座の依頼もある。
 - 5/7 梶野公園減災フェス出張予定。
 - ・活動報告書、個人名の記載はしない。4月分活動記録より見直し後の提出を行う。
 - ・5月、1層協議体にてR4活動報告及びR5活動計画について3分程度以内で行う。

次回開催予定 生活支援連絡会 5月17日(水) 14時 以上

会 議 名

令和5年度第2回生活支援事業連絡会

開催日時 2023年5月17日 14:00～16:00

開催場所 本町暫定第2会議室

参加者

ひがし包括：金子氏、みなみ包括：吉田氏、きた包括：松村氏、にし包括：久野（記録）
市包括支援係：木津氏、菊地原氏

議事内容

1. 第1層協議体について

- ・資料6参照
- ・「妻が不在、もしくは自身が高齢になり知識不足、ADLの低下等により日常生活に支障をきたす事例が生じている。」現状に対してアンケート調査を実施。今日現在43%の回収率。活動に参加している男性からの回答が多いかもしれないが、アンケート内容の「4.男性が参加しづらいと思う理由」や「3.地域活動に参加したきっかけ」の回答率から「興味関心があれば参加する」→「興味をもってもらうようなものの提供が大切」という見方もできる。
- ・当日は各包括から2分程度でR5年度の活動予定や目標を発表。

2. 地域活動情報交換会について

- ・サブスタッフ卒業生や地域活動している人に参加してもらう。
- ・7/3（月）13:30～15:30
- ・チラシは別紙参照
- ・ボッチャ体験後の「地域活動情報交換」では、活動している中で「参加者を増やしたいが方法が分からない」「活動を手伝ってくれる人がほしい」など情報交換ができると良い。サブスタッフ卒業生への参加の声掛け（郵送）は市で行うが、地域の対象者への声掛けは各コーディネーターで行って欲しい。各圏域3～4名程度。決まったら市：第1層コーディネーターに連絡。
- ・団体紹介は各団体の代表者に行なってもらう。
- ・この「地域活動情報交換会」は第2回目11/20（月）PM第3回目3/25（月）PMいずれも、もえ木A・Bホールで予定している。コーディネーターの参加は任意。

3. 「お金の管理」啓発について

- 7/28（金）12時～17時で公民館みなみ分館2F学習室B（定員35名）をおさえている。
14時スタート、集合時間は12:30、受付は13:30～。朗読劇後の意見交換会の司会は各コーディネーターで行う。
- ・朗読劇「小金井らんまん」の配役
①父→S氏 ②母→I氏 ③長男→みなみ包括：Y氏 ④長女→にし包括：K氏 ⑤次女→ひがし包括：K氏
⑥友人妻→市：K氏 ⑦ナレーション→きた包括：M氏を予定。
 - ・全員で読み合わせを実施。

4. スマホ講座・相談会について

- ・定期相談会5/9（火）行ったが参加者0名。5/16（火）は4～5名の参加。
- ・スマホサポーターを養成したが、雨天でイベント中止。まだ活動の機会がない。
- ・ニーズとしては「出張相談会」の方があろう。

5. その他

- ・「青春のうた広場」を応援ブックに掲載可能かについては市で確認。
- ・応援ブックのPR分は80字程度で。
- ・UPTREEの「アウトドアけあカフェ」の掲載が応援ブックになかった。全圏域にまたがる活動。あいたい屋の駐車場の集合・受付の風景を写真掲載できると、参加希望者に分かりやすいのではないかと、きた圏域の情報紙分に載せてよいかについては構わないとの事。

次回開催予定 6月21日（水）14時～

会 議 名

令和5年度第3回生活支援事業連絡会

開催日時 2023年6月21日 14:00~16:00

開催場所 本町暫定第2会議室

参加者 ひがし包括：金子氏、にし包括：久野、きた包括：松村氏、みなみ包括：吉田氏（記録）
市包括支援係：木津氏、菊地原氏

議事内容

1. 男性の活躍する場について(1層協議体をうけて)

- ・カスタマージャーニーに落とし込んで課題を整理した。※別途、E-Mailで資料共有
- ・男性が集まりやすい社会資源開発について、公民館での活動や、市民活動団体リストなどから開発していく。
- ・働きかけの仕方や居場所などについて男性の声を聴く場を創る
包括支援係⇒各圏域で既存の二層協議体での本テーマ開催はできないか。「男性が活躍できる場」とはどのような場なのかがアンケート調査からは見えてこないため、生の声を聞きたい。
各包括より⇒・すでに地域課題(新たなテーマ、既存課題など)をもとに各包括それぞれ協議体を開催するため、男性の社会参加テーマを付加し限られた時間で行うのは難しい。
 - ・既存の協議体の構成員の多くが女性のため、男性からの直接の声は集めにくい。
 - ・聞取りが目的であれば、配偶者を通して聞き取る方法はできないのか
 - ・二層協議体において何を聞きたいかより具体的なものが無いと目的がぼけてしまう。
 - ・包括でかかわりのある男性は相談者の配偶者や予防・総合事業の対象者が半数以上の為、そもそも、協議体の場に集まることが出来ない方も多い

各包括より⇒各包括で協議体を開催することは効果的ではない。課題を投げかけ、どう行動するか一緒に考えてくれる団体と協議をした方が良い。老人会、シニア SOHO、クリスタル、シルバー人材等々の男性が活動している団体と一緒に課題意識をもってくれる方たちに声をかけて意見聴取とか課題検討の場を設けてはいかがだろうか？意見を聞く協議の場づくりだけでなく一緒に考えてくれるパートナーが必要。生活支援 Co はコーディネートと住民支援をしても、その住民支援のパートナーとなる住民・団体を想定しておかないと支援の出口が見つけられなくなってしまう。

市包括支援係⇒男性の意見を聞く協議の場については持ち帰って市で協議する。

2. 地域活動情報交換会について

サブスタッフ以外の参加集約状況を各包括にするが、各包括1~2名程度のため、引き続き声がけを確認。

3. 応援ブックについて

記載情報として、プレ・シニアのための社会参加説明会等の、地域資源育成の社会参加情報も掲載をしてはどうか。男女比について/数字で直接的に記載するより、団体規模や男女比は図式化して表示する方向で検討。

団体規模は例えば、小グループ(○人以下)・中グループ(○人~○人)・大グループ(○人以上)
男女比も図形に色で男女比を表現するなど、次回以降もデザイン検討とする。

その他の件/宮地楽器で行われている歌の会については、イベント的要素が強いこと、交流する目的が薄いことから応援ブックへの掲載は行わない。但し、高齢者の有用情報として各生活支援 Co が情報ストックしていると望ましい。

4. 地域の情報共有について

きた包括/Cafe5884のK氏による『じんばやし食堂』

木もれびという団体立上げさくらファンダなどにも申請し地域食堂開催 第2木 17:00~19:00

K氏の趣旨に賛同しボラも参加者も多く集まって開催される。

初回は6名のボラに16名の参加者(子ども連れ1/2 ニットカフェ参加者1/4 K氏友人1/4)

ひがし包括/子ども食堂(こがね食堂)/プラットホーム六地蔵にて 第4金曜 17時から20時(4月から新規)

※7月は14日/第2金曜日の開催

にし包括/山口健康スタジオ(Y氏/元体育教師、医療生協や新婦人で活躍)月謝制でさくら体操より少しハードな内容の健康づくりの通いの場を発掘した。自宅を開放して実施。

にし包括/彩の会で木曜日行われていた自費サービス音楽の会は今後既存の利用の方のみで縮小方向。代わりに、6月より、1回/月、第3水曜日に貫井北町センターで6月より歌の会を開始した。

5. 「お金の管理」啓発について

・10月開催は10/26(木) 小金井東センター 公民館東分館にて調整

・啓発事業配布資料のチェックリスト案について※別途配布/案のものよりも、フロー図をたどっていくものやチェックを付けて自己診断できるスタイルが解り易い⇒包括支援係で案を練り直し改めて提示することとなる。

・7/28 貫井南センターでの啓発事業寸劇リハ・当日の市民参加2名(S氏、I氏)への案内時刻について

◆事前リハ練習 7/19(水) 15:15~16:00 ◆本番当日 7/28(金) 集合 13:00 (Coは12:30) リハ 13:00~13:30 本番 14:00~

6. その他

・プレ・シニアのための社会参加説明会 7月18日(火)開催

・スマホサポート養成講座 8月17、24、31(木)開催 各包括への周知依頼

次回開催予定 7月19日(水) 14時~

会 議 名

令和5年度第4回 生活支援事業連絡会

開催日時 2023年7月19日(水) 14:00~15:15

開催場所 本町暫定第一会議室

参加者

小金井市介護福祉課：木津、菊地原

ひがし包括：金子 にし包括：久野 みなみ包括：吉田 きた包括：松村（記録）※敬称略

議 事 内 容

1. 男性の活躍する場について（第1層協議体を受けて） ※別添ヒアリングシート参照

- ・活動団体を集めて協議体を開催するのは難しいとの意見をふまえ、市が各団体からヒアリングを実施する。ヒアリングを実施したうえで、団体同士が集まって話す場について賛同が得られれば、そのような場を作る。
- ・ヒアリング対象団体は悠々クラブ、シニア SOHO、らくビット、クリスタルの4団体を想定。
- ・悠々クラブ、シニア SOHO については市より打診する。らくビットはみなみ包括、クリスタルはきた包括にそれぞれ窓口になってほしい。⇒みなみ、きた包括とも打診については了解。
- ・悠々クラブについてはN会長にすでに打診。後日連絡の上、挨拶に行く。
- ・市が活動場所に出向いて男性会員から聴取する。ヒアリングのために別途日程調整する必要はない。

2. 応援ブックについて

- ・参加人数、男女比をアイコンで表記する。(人の形のピクトグラムなど)
- ・男女比を正確に表すことは難しいか。男性が一人でも参加していればアイコンの半分を青く塗るなど。
- ・大分類…①運動、②趣味・教養、③交流の場、④サロンの4種類。
中分類は活動内容によって各包括で適当と思われるものを入力する。中分類の並びは一昨年の応援ブックの索引を参考にする。
各包括からデータが出揃ったところで、中分類のすり合わせを行う。
- ・包括から市への提出は10月末まで。データ提出の際は、そのまま印刷に出せるよう、分類ごとに整理した状態とする。

3. 「お金の管理」啓発について ※別添「確認シート」参照

- ・朗読劇のあとの意見交換会で実際に記入できるものがよいのではと考え、市で別添確認シートを作成。これをもとに意見交換。
- ・「セルフチェック」→「大切な人との情報共有シート」
- ・記入後に家族等と情報共有を促す一文を入れる
- ・今後の通いの場での啓発については、昨年おとなりさんカフェで実施した朗読劇の録画データの視聴、その後意見交換、チェックシート記入という形での実施する。データの入ったiPadの貸し出し可能。他に有効なやり方があれば共有する。
- ・啓発パンフに関しては、民生委員の75歳、80歳訪問で配布いただけるよう調整している配布しないようであれば、各包括に追加で配布する。

4. その他

- ・6月のスマホ講座について。緑町第2町会の見学あり。今後町会でスマホ講座開催とのこと。講師：S氏。
- ・南部長生会からも市議を通してスマホ講座の依頼あり。
- ・スマホサポーターの活躍の場がほしい。通いの場等で希望があれば連絡すること。
- ・お元気サミットは11/8(水) 午後が生活支援担当。啓発劇実施のほか、ボッチャ体験を同時開催予定。
- ・サブスタッフ養成講座は参加者募集中。受け入れ場所は中町、桜町、陽なたの3か所。
- ・「シニア・プレシニアのための～」は5名申し込みあり。当日キャンセル1名あり、4名が参加。すべて男性。それぞれ講座への参加申し込みあり。

5. 朗読劇練習 連絡会終了後、S氏、I氏を交えて朗読劇の練習を実施。

次回開催予定

生活支援連絡会

2023年9月20日(水) 14時～

於：本町暫定第2会議室